

ることが、収穫を最大限に上げると共に、地中の消耗を防ぐことになるのであろうか。このように水を使った場合、どのような電力が得られるか。これはまた自然灌漑とポンプ揚水の限界を決めることになる。この場合に残った電力は何に使えるのであろうか。ある工業を考えた場合どの程度の補給電力を必要とするのであろうか。

今日ユーフラテス河の灌漑地域では大体小麦と棉花の3年輪作を行っており、小麦と棉花を作って一年は休ませることにしている。別に牧草地はもっていない。われわれは15万から20万の遊牧のベドウィン族をもでるだけ定着させたいのだという。このような計画を立てるにはどのような調査をしたらよいか。まだ地図も不足しているところがあるし、もっとユーフラテス河自身の事情も知らなければならぬ。土性も知らなければならぬし、水質についてもそうである。その上に安定した農業経営を営むにはどうしたらよいかという問題がある。これらについての調査を行い、その上で計画を立ててほしい、というのが、今回のシリア政府の要求するところであった。一つの地域開発のモデルである。

シリア政府はこのなかから、資金の都合を見はからって、逐次必要なところから具体化してゆきたい、というのであった。

○

私達は13日の夜ダマスカスに帰ったのであるが、そこで聞いたことは、スエズ事象がおきてから油の事情が窮屈になり、どこの会社も飛行機の回数を減らしており、16日のベイルートからイスタンブールに行くパン・アメリカンの飛行機をにがすと次は日程が決められないので、一応この飛行機の座席を予約しておいたといふことであった。翌日、ベイルートへ確かめてみたのであるが、これととも、イスタンブールで翌日東廻りのパン・アメリカン機に乗れることは乗れるのであるが、パンコ

ックまでしか座席は確保できないというのであるが、これを遅らせば、やはりその先は判らないというので、大体事情は判ったから、ダマスカスの要件は打ち切って15日にベイルートに出ることにした。ダマスカス滞在は1日半しかなくなったので、また仕事は急に忙しくなってしまった。資料の確認やら挨拶回りで忙しい1日半であった。15日には朝8時にガープ開発庁に長官を訪ねて旅行中お世話になったお礼を述べると共にしばらく懇談した。そして正午一寸過ぎにダマスカスを立ち、せっかく来たのだからと途中少し回り道をして、バルベックのローマ時代の古跡を訪ね、7時頃ベイルートのホテル・エクセルシオンに到着した。

いろいろと面倒なこともあったのであるが、田村公使やシリア政府の人達の助力で、大体ここまで来た目的を達することのできたのは何よりのことであった。16日の朝は美しい光が地中海に跳っていた。朝食後にホテルの庭に出て、しばらくヤシの木を通しての地中海を眺めた。静かな朝であった。英字新聞のないシリアでは私達に判るのはラジオの「ブリテンの声」だけで、その他は通訳してもらっただけであった。ミグの戦闘機がどうのこうのと、いろいろうわさを聞いたのではあったが、私達の実感は大抵平静ということであった。同じアラブ連盟といっても東の方と西の方では多少事情は異なっているようで、シリアは丁度その中間にあって、スエズ停戦のあとは、特に両陣営からの宣伝の場ともいうような感じを多少とも受けるのであった。

私達は16日の午前11時に古内公使に、それから今回行を共にした丸紅の篠田氏と、また大溝氏に送られてベイルートの飛行場を立った。翌一日をイスタンブールの見物に過し、その日の午後11時にまたパン・アメリカン機に乗り、そして19日の夕方羽田飛行場に帰着した。(1953. 1. 16)

## 東京大学生産技術研究所報告 第6巻第4号予告

### 今岡 稔著「 $\alpha$ -族元素硼酸塩系の ガラス化範囲」

生産研究第8巻第7号291~4 掲載「ガラス化の条件について一主として硼酸塩ガラスに関して一」の詳細で、93の硼酸塩3成分系のガラス化範囲のデータを掲げ、Zachariasenの法則を基礎として発展させたガラス化条件を、個々の実例について検討し、その面からガラス成分のガラス構造中の役割や配位数について論じたものである。

正 誤 表 (1月号)

頁	段	行	種 別	正	誤
7	左	1	式(8)	$\frac{q(V+v_1 e^{j\omega t})}{kT}$	$\frac{e^{-q(V+v_1 e^{j\omega t})}}{kT}$
"	右	下15	式(20)	$\frac{C_p}{C_T} = \frac{L_p}{208_n}$	$\frac{C_p}{C_T} = \frac{L_p}{208_n}$
8	"	9	本 文	5 $\mu$ A	50 $\mu$ A
10	"	第14図	( $f=47.74$ kc)		( $f=4774$ kc)
11	"	下9	"	減少に	減少は
13	"	12	"	が、また検討中	が、とまた検討中
"	"	20	"	合金接合型ダイオード	合金接合性型ダイオード
14	"	第2図	オムニオメーター		オムエオメータ
15	左	下18	本 文	7線束が大きく	7線が大きく
18	右	写真-2		80mesh, 120mesh 60mesh, 100mesh	60mesh, 80mesh 100mesh, 120mesh
19	"	第7図	(縮尺)	200m	20cm
20	右	4	本 文	訂線	訂線
21	左	6	"	平均粒径は	平均粒徑に
"	右	5	"	この間波高	この間波高
"	"	第13図	(b)	周期の縦軸に sec が入る	(脱 落)
26	"	第7図		オリフィス差圧(横軸)	流量計オリフィス